

令和4年度 地域貢献事業活動報告書

1 事業名称	男女共同参画社会の構築に向けた教育課題・地域課題の探究
2 事業推進者等	(責任者職名・氏名) 教授・宮下敏恵
3 学外の連携機関等	(連携機関等名) (担当者職名・氏名)
4 事業の趣旨・目的	<p>本事業の目的は、上越市教育コラボを始めとする様々な機会を設けて、「男女共同参画社会の構築に向けた教育課題・地域課題の探究」をテーマとしたワークショップを継続して開催することにある。一連のワークショップにおいて、世代(年齢)・性別・職業の異なる人々、すなわち、学生および大学教職員、地域住民がそれぞれに抱えている問題意識や状況認識を交錯させることを通じて、「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」(2019年12月20日閣議決定)が掲げる「将来にわたって「活力のある社会」の実現」を目指して、上越地域が取り組むべき課題をあぶり出す。</p> <p>上記の国家戦略は、人口減少の趨勢を受け入れた上で、人口減少を和らげることを重要課題として設定している。それは、戦後日本において、一人の女性が生涯にわたって産む子どもの数(合計特殊出生率)が長期的に低落して少子化が進むなかで、いくつかの少子化対策が打ち出されてきたものの、それらの対策のほとんどが不発に終わったからである。「第二次ベビーブーム世代」と呼ばれるコーホートを中心とした年齢層の女性は50歳を間近に控え、さらなる少子化の進行が決定的となっているが、その結果として生じるさらに急激な人口減少というマクロな事態を回避することが重要な課題であることは間違いない。しかし、こうしたマクロな課題に取り組む上で、産む/産まないという選択を「決定」する当の女性たちが直面している生きづらさを和らげることは、極めて重要な課題となるだろう。これまでの少子化対策が不発に終わった理由は複合的であるが、その背景には、出産の意思があるにもかかわらず、理想とする人数の子どもの出産を阻むさまざまな社会的諸条件(=生きづらさ)があると考えられるからである。</p> <p>こうした生きづらさを理解して、状況を変えていくことは一人一人の生にとって有益であることはもちろんのこと、男女共同参画社会を築く上でも、「活力のある社会」の実現という「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の課題に取り組む上でも有益であるだろう。本事業は、上越市教育コラボだけではなく、それ以外の時期にもワークショップを継続的に開催することで、上越地域での生活実態に即して一人一人の生きづらさにねらいを定めながら、男女共同参画社会を築く上での教育課題・地域課題を探究することで、「活力ある社会」の実現に向けて上越地域が取り組むべき課題をあぶり出そうとするものである。</p>

5 事業活動報告

①2022年11月19日の上越市教育コラボにおいて、ワークショップを開催し、本事業の目的に照らして有効であると考えられる映画「生理ちゃん」を上映し、その後参加者とフリートークを行った。参加者は学内参加者12名、学外参加者3名であった。



②2023年2月21日に、「ジェンダー&セクシュアリティ・フォーラム」を上越教育大学において開催した。映画「マダム・イン・ニューヨーク」を上映し、その後参加者とフリートークを行った。参加者は学内参加者7名、学外参加者1名であった。



6 本事業で得られた成果	<p>以上の2回にわたる企画を開催することで、以下の4点の成果が得られた。第1に、本学において必ずしも十分に保障されているとはいえない、ジェンダー／セクシュアリティをめぐる学びの場を提供したことで、このテーマに関心を抱く学生の中に新たなつながりが生まれた。また第2に、今年度の事業は上映作品の選定からイベント当日の運営に至るまで、学生のイニシアティブにおいて実施されたが、このことにより、より若い世代の関心に応える事業となったと言える。その一方で、学生がイベントの企画から実施に至るまでの一連のプロセスに不慣れであることは否めず、その結果として、事業の実施回数が昨年度よりも抑えられたところがある。ただ、このことは、本事業にコミットした学生がこうしたイベントの企画や運営のプロセスを経験をしながら、それに必要なスキルを形成していたということでもあり、これを第3の成果として数えたい。来年度の事業はさらに充実することが期待できる。第4に、必ずしも人数の上では多くないとはいえ、近隣の看護大学からの参加者も得られたことで、男女共同参画社会の実現へ向けた課題の捉え方や感じ方の違いが多少なりとも浮かび上がることとなり、議論が豊かなものとなった。本事業が目的として掲げている「上越地域が取り組むべき課題をあぶり出すこと」に取り組むためには、引き続き、教員—学生—地域住民の意見交換を積み重ねていくことが極めて重要であることが実感された。</p>
7 その他(成果物等の名称)	

※事業の実施風景を写真撮影し、本報告書と併せて提出してください。